

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年11月30日

【評価実施概要】

事業所番号	0972100507		
法人名	医療法人杏仁会		
事業所名	グループホーム仁良川苑		
所在地	栃木県下野市仁良川1442 (電話) 0285-47-0022		
評価機関名	社会福祉法人栃木県社会福祉協議会		
所在地	栃木県宇都宮市若草1-10-6		
訪問調査日	平成19年11月5日	評価確定日	平成19年11月30日

【情報提供票より】(平成19年10月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成17年4月1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	13 人	常勤5人, 非常勤8人, 常勤換算7人	

(2) 建物概要

建物構造	木造 1階建ての1階部分		
------	-----------------	--	--

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	35,000 円	その他の経費(月額)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理美容代—1,500円</li> <li>・おむつ代—実費</li> <li>・水道光熱費—13,000円</li> <li>・日用品費—12,000円</li> </ul>
敷金	無		
保証金の有無(入居一時金含む)	無	有りの場合償却の有無	—
食材料費	朝食	300 円	昼食 300 円
	夕食	400 円	おやつ 100 円
	または1日当たり 円		

(4) 利用者の概要(平成19年10月1日現在)

利用者人数	9 名	男性 4 名	女性 5 名
要介護1		名	要介護2 2 名
要介護3	2 名	要介護4	5 名
要介護5		名	要支援2 名
年齢	平均 85 歳	最低 74 歳	最高 97 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	海老原医院、岡田医院、山中歯科医院
---------	-------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームの門扉の前には、旧家の立派な門、樹齢を重ねた樺があり、ホームを囲むようにして竹林や柿、栗などの樹木があり、玄関の軒先には入居者と一緒に皮むきをした干し柿がつるされていた。敷地内で筍や落なども採れ、季節の食卓を飾っている。家族会があり、家族会ノートで家族間の情報交換をしたり、行事のほかにも庭の手入れを手伝っていただいたりしている。自治会に加入しており、入居者と一緒にゴミステーション立ちをして近所の方と話をしたり、ホーム行事の際に近隣の方に手渡してチラシを配ったり、電話をして誘ったりと近隣との交流を図っている。職員は明るく、前向きで、職員間の連携をとりながら、昨年職員全員で再作成した理念の実践に向けて日々取り組んでいるグループホームである。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	<p>これまで外部評価を踏まえて日めくりカレンダーを作ったり、時計の配置を見やすい場所にするなどの改善をしている。また、スタッフ会(職員会議)等で職員が意見を出しながら入居者とゆっくと話せる時間を持てるように掃除の時間を見直したりしている。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>今回の自己評価は、管理者が作成後、職員の意見を聞いてまとめた。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>自治会長、市高齢福祉課、地域包括支援センター、家族会会長に参加してもらい、ホームの現状、行事などの報告をし、メンバーとの意見交換を行っている。運営推進会議の内容は家族会会長を通して家族にも報告している。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>毎月入居者ごとに写真や全職員のコメントの入ったお便りを作って家族に送付している。前々月からはこれに加えて毎日の生活の様子を綴った近況報告も送付するようにした。アルバムを用意したり、家族会の際にデジタルカメラの映像を映写したりもしている。また、センター方式のアセスメント方式に取り組む中で家族との情報交換もしている。預かり金の報告も定期的に行っている。運営推進会議(家族会会長が参加)、年2回の家族会、行事、普段の来訪などの際に意見等を聞き、対応できるものはすぐに対応している。最近では、車いすトイレを利用する際のプライバシー確保策としてカーテンを取り付けるなどしている。家族会ノートが用意しており、家族間で連絡を取れる仕組みもある。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>自治会に入会しており、入居者と一緒にゴミステーション立ちをするなど自治会活動にも参加している。回覧板を見ながら地域の行事を把握して参加したり、ホームの行事の際には近隣に手渡してチラシを配ったり、電話をして参加を呼びかけたりしている。近所の方から野菜などをいただくこともある。</p>

## 2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	昨年、全職員で話し合っただけの理念を見直した。家族・地域社会等とのつながりも踏まえ、「安心できる場」「その方の願い」「ゆとりある時間」「もうひとつの家族」「ありがとう」「笑みの多い暮らし」をキーワードとした理念を作り上げている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員は、日頃大切にしていることとして自分の言葉で理念の内容を言うことができ、理念を共有しながら日々の実践に取り組んでいる様子がうかがえた。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会に加入しており、入居者と一緒にゴミステーション立ちをするなど自治会活動にも参加している。回覧板を見ながら地域の行事を把握して参加したり、ホームの行事の際には近隣に手渡しでチラシを配ったり、電話をして参加を呼びかけたりしている。近隣の方が自発的に入居者と花壇づくりをして下さる。近所の方から野菜などをいただくこともある。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	これまで外部評価を踏まえて日めくりカレンダーを作ったり、時計の配置を見やすい場所にするなどの改善をしている。また、スタッフ会（職員会議）等で職員が意見を出しながら入居者とゆっくりと話せる時間を持てるように掃除の時間を見直したりしている。今回の自己評価は、管理者が作成後、職員の意見を聞いてまとめた。		

グループホーム仁良川苑

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	自治会長、市高齢福祉課、地域包括支援センター、家族会会長に参加してもらい、ホームの現状、行事などの報告をし、メンバーとの意見交換を行っている。運営推進会議の内容は家族会会長を通して家族にも報告している。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進会議のほか、ホームの運営について相談、照会等をしている。ホームとして、今後更に話し合いの機会を増やしたり、気軽に行き来できるような関係を築きたいと考えている。	○	昨年度、地域の方を対象とした介護教室や中学校での福祉講義を行った実績もあり、今後更に市との連携も深めながら地域での認知症ケアの推進役として活躍していくことを期待したい。
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	毎月入居者ごとに写真や全職員のコメントの入ったお便りを作って家族に送付している。前々月からはこれに加えて毎日の生活の様子を綴った近況報告も送付するようにした。アルバムを用意したり、家族会の際にデジタルカメラの映像を撮影したりもしている。預かり金の報告も定期的に行っている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議（家族会会長が参加）、年2回の家族会、行事、普段の来訪などの際に意見等を聞き、対応できるものはすぐに対応している。最近では、車いすトイレを利用する際のプライバシー確保策としてカーテンを家族と協働で取り付けるなどしている。家族会ノートが用意しており、家族間で連絡を取れる仕組みもある。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	これまでに異動は離職に伴う1回と少ない。職員のスキルアップのための異動の必要性も考えてはいるが、「馴染みの関係」といったグループホームの特性といった点でも考慮している。離職の際は、入居者に事前にお知らせしてお別れ会を行い、新しい職員の入職の際は顔合わせを行っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	○職員を育てる取り組み  運営者は、管理者や職員を段階に応じた育成するための計画を立て、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部の研修への参加は出張扱いになっており、研修受講後は報告書をまとめて報告をしたり、資料を回覧するなどして研修内容の共有に努めている。資格取得についても積極的に取り組むように伝えている。職員の異動等の影響もあって、今年度は研修参加が少なめであったが、今後、研修の機会を増やしたり、以前法人病院の医師の往診の際に行っていた勉強会なども再開したいと考えている。	○	研修機会が以前のように増えていくことを期待したい。また、今後、運営者とも相談しながら人材育成計画を検討することも考えているようなのでその実現に期待したい。
11	20	○同業者との交流を通じた向上  運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	県のグループホーム協会に加入している。また、管理者は研修の際に他のホームの職員と接点を持ち、研修や参考書籍などの情報を聞くなどの関係を作っている。	○	研修・会議等の場を活かしながら、また運営者や他ホームとも相談しながら、気軽に相談したり訪問したりできるようなネットワークを広げていくことを期待したい。
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	○馴染みながらのサービス利用  本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居の前に見学をしてもらい、入居の際には自己紹介、職員の紹介、他入居者の紹介をする「入居式」を行っている。入居当初に不安等が見られたときは家族に電話をしたり、ホームに来てもらったり、職員が付き添って気分を変えたりしながら徐々に馴染めるように配慮している。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係  職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	例えば食事づくりなどでもレシピ本を見ながら入居者と職員と一緒に献立を考えたり、調理をしたり、後片付けをしたり、針仕事など入居者の得意なことを活かしながら一緒に生活する関係を築いている様子がうかがえた。理念の中の「ありがとう」という言葉は入居者に何かしてもらったことに対する感謝ではなく、支援させてもらうことに対する感謝という意味で使っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	○思いや意向の把握  一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	昨年、職員が1人～2人の入居者を担当して家族にも協力してもらいながら、全入居者についてセンター方式でのアセスメントに取り組んだ。この取り組みによって、入居者一人ひとりを良く見ることができるようになったり、今まで気づかなかった特技を発見できたということを職員も感じている。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	入居者や家族の希望、職員の気づきなどをもとに話し合いながら介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し  介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的な見直しのほか、スタッフ会などでも話し合いながら必要に応じて見直しを行っている。現在、介護計画の様式を見直しており、居宅サービス計画書の第1表（利用者や家族の意向、総合的な援助の方針等）、第2表（ニーズ、目標、サービス内容等）に情報を転記して、充実を図る予定である。	○	センター方式で詳細な情報を得ており、介護計画の様式等も見直していることから、本人・家族にも分かりやすい課題や目標の設定についても検討してみたいことを期待したい。
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援  本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	協力医療機関への通院や近所の理美容院の利用支援など柔軟な支援に努めている。また、家族用の布団も準備しており、実際に宿泊される家族もいる。行事やレクリエーションの参加など、隣接のデイサービスセンターとの連携も図られている。		

グループホーム仁良川苑


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ほとんどの方のかかりつけ医は協力医療機関である法人の病院になっており、受診の際の送迎等は職員が対応している。その他の病院や歯科医院などは家族対応で受診の支援をしている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化・終末期のケアのあり方についてスタッフ会などで職員間の話し合いを持っており、職員一人ひとりが、個人的にはできる限りの対応をしたいと考えている。センター方式のアセスメントを通じて家族の意向を聞いている。今のところ、本人・家族・医師等と繰り返し話す機会を持つ、ということには至っていない。	○	職員体制や必要な医療的資源等を明らかにしたり、確保したりしながら、ホームとしての方針を確立することを期待したい。また、早い段階から本人や家族と繰り返し話し合いながら希望に沿った支援をしていくことを期待したい。
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	居室の扉は一部ガラスが入っているが本人の希望でカーテンや暖簾をかけたり、訪問調査時に同意をいただいている居室の扉をさり気なく閉めたりとプライバシーに配慮した対応をしている様子がうかがえた。記録等の取扱についても適切に配慮している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	押し付けのない生活の支援に努めている。訪問時の食事の場面を見ている、食事に時間のかかる方を急かしたりといったことは見られなかった。		

グループホーム仁良川苑

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	レシピ本を見ながら入居者に食べたいものを聞いて献立を作ったり、一緒に調理をしたり、後片付けをしたりしている。食事の際はテレビを消し、適度な音量で音楽をかけて入居者の間に職員も座り会話を楽しみながら、職員も入居者と一緒に同じ物を食べていた。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	基本的に15:30からの入浴時間帯の設定になっている。本人・家族了解のうえ、介助の都合で午前中に入浴される方もいる。夕食後の時間(19:30~20:00)に入浴される方もいる。入浴が苦手な方にも声かけや職員の対応を工夫しながら1日おきの入浴が支援できるように努めている。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	調理、洗い物、洗濯物干し、裁縫、掃除、花の手入れや折り紙、塗り絵、ハーモニカ、押し絵など役割ごと・楽しみ・気晴らしの支援をしている。センター方式にて、家族も知らない趣味・特技(ハーモニカ)があったことが表面化し楽しみごとに取り入れている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	週3回の食材の買い物、散歩、ドライブなど外出の機会を作り、りんご狩り、ぶどう狩り等の行事には家族も誘って出掛けている。		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は玄関の鍵をかけていない。センサー等は特につけていないが、外に出たような時のしぐさや様子などを職員が把握して見守り支援している。鍵のかかる門扉があり、門扉の外はすぐに道路になっているが、門扉にもなるべく鍵をかけないように心がけている。		

グループホーム仁良川苑

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年1回避難訓練を実施しており、今年度については11月に実施予定である。防災管理マニュアルを作っている。	○	近隣との関係づくりができていていると思われるので、例えばホームの避難訓練に近隣の方の参加を呼びかけたり、消防団等に働きかけたりしながら地域の協力が得られるような体制づくりをしていくことを期待したい。
<b>(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	担当2名が半月ずつ献立を作成し、併設のデイサービスセンターの栄養士のアドバイスを受けている。栄養士を講師に勉強会も行った。食事量を把握して、摂取量が少ないときには本人の好きな軽食を提供したり、水分摂取量にも気を配って少ないときには好みのものを提供するなどの配慮をしている。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
<b>(1) 居心地のよい環境づくり</b>					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関や中庭部分のウッドデッキに草花を飾ったり、和室部分の床の間に掛け軸や陶芸をされていた入居者の作られた壺を置いたり、設備や調度品なども家庭で使われるようなものを使っている。音や光の具合も適切に配慮されていた。また換気も適切に行われている様子がうかがえ、気になる空気のおよみ等はなかった。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	カーテンも含めて、ベッド以外は持ち込み自由になっており、机やテレビ、家族の写真や位牌等が持ち込まれ、それぞれの居室づくりがなされていた。		

※  は、重点項目。

※ WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。